

【テーマ3：防災】

活火山・桜島から学ぶ防災

～火山防災の最前線で考える自然と人との“距離感”～



Q1 桜島ってどんなところ？
基本的なことを調べてみよう。

どこにあるか？ /どのくらいの大きさ？
/年に何回くらい噴火している？
/桜島の人口はどのくらい？

など

Q2 桜島における過去の火山災害、過去の土石流被害を
調べてみよう。

- 大規模噴火としては、大正噴火（1914年）が有名
死者・行方不明者58名 /溶岩が海峡（瀬戸海峡）を埋め大隅半島と陸続き
になった など
 - 土石流は現在も頻発しており、平成はじめ頃まで氾濫等の被害もあったが、
砂防工事が進展した最近では被害発生までには至っていない
- ※ 検索例：[気象庁 | 桜島 有史以降の火山活動](#)（土石流被害は1980～85年を中心に記述あり）

Q3 桜島で行われている防災について調べてみよう。

- 噴火警戒レベルと避難情報の運用
- 退避壕・退避場所の整備
- 土石流対策

など

修学旅行中の学び

桜島ビジターセンター&溶岩なぎさ遊歩道

見学などを通して、
生徒が学んだことや感じたことを
自由に記入してもらいます。

桜島で過去に
起こった火山災害、
土石流被害を
確認しよう

黒神埋没鳥居

大噴火の遺構
を間近に見て
感じたことを
まとめてみよう

野尻川4号ダム

防災にどのような
効果があるか
まとめてみよう

ふりかえり

今日のプログラムを通じて、
わかったことや感想・印象
などをまとめてみよう



事後学習



Q 1 桜島で発生した災害に対する
防災の工夫をまとめてみよう。

- 国による本格的な砂防事業の開始
- 火口からの距離に基づく「立入規制」
など、現地学習で学んだことを中心にまとめる

Q 2 防災にとって大切なこと・必要なことを考えてみよう。

- 正しい知識を持つこと
- 早めに行動すること（備えること）
- 情報を正しく受け取り、判断すること など

Q 3 あなたが住んでいる地域のハザードマップを確認し、
自然災害と地域との関わりを調べてみよう。
また、その自然災害が発生した際にどのような対策が必要か
考えてみよう。

Q 2 であげたことを視点に、自分が住んでいる地域で発生する可能性
がある自然災害、およびそれへの対策についてまとめる